

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 ひたちなか市立中根小学校担当教諭名 秋野 まき子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成 23 年 2 月 1 日 (火) 10 : 20 ~ 13 : 05
対象学年と人数	第3学年 児童81名 (2クラス)
派遣講師名と出身国	孫 ヒョン 韓国 オレリー ノエル フランス
活動の内容	1 全体会 (1)あいさつ 講師紹介 (2)かんげいの言葉 (3)講師の自己紹介 2 クラス別の活動をローテーションで行った。 ・お国の紹介 (位置, 言葉, 文化, 建物, 食べ物, 学校など) ・ゲームや質問コーナー 3 交流給食 ・各クラスに1名ずつ入って交流した。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	事業に参加しての意見・感想 事前の打ち合わせが少し不足し、当日の打ち合わせで変更するところがあったが、柔軟に対応していただき感謝しています。子どもたちは講師の話や映像に興味をもち、貴重な体験ができた。日本と外国の生活習慣や文化の違いに気づくことができたのは大変よかった。
生徒・保護者等参加者の感想	・ フランスには、ピラ砂丘というとても大きく海と森とにはさまれている砂丘があるところが、不思議でした。韓国の食べ物は、からそうなものが多くありました。どの国にも、それぞれのよさがあると思いました。 ・ フランスの人たちが、毎日フランスパンを食べるところや、韓国のガヤグムという楽器が、日本の三味線とにているところにおどろきました。 ・ フランスのオレリーさんや韓国の孫さんに、いろいろなことを教えてもらってうれしかったです。フランスの学校のことや韓国のあいさつ「アニョハセヨ」という言葉が、1日中使えるあいさつだということにびっくりしました。 ・ フランスや韓国のあいさつを教えてもらったので、旅行に行った時に使ってみたいです。そして、もっとフランスや韓国のことが、知りたくなりました。 ・ フランスでは、夏休みが2ヶ月間もあって、宿題がないことにおどろきました。韓国の家では、床の下に温かい水が流れていて、床が温かいことも初めて知りました。
先生の感想	・ 講師の方が、プロジェクターを使用して写真や動画をたくさん見せてくださったので、児童にとって理解がしやすかった。 ・ 講師の方とゲームをしたり、マジックを見せていただいたり、子どもたちは一層親しみを感じ、楽しく交流ができた。 ・ 日頃、外国の方と交流する機会もなかなかない子どもたちにとっては、感想や活動の様子などからも、とても貴重な体験となった。 ・ 内容が豊富で、時間が足りないと感じた。子どもたちも、もっと活動したいようだった。もう少し、余裕のある日程を組み、交流を深めたかった。

